

2月25日(土) 第1会場

モーニングセミナー1

08:00~08:50

座長：大磯 ヌタカ（名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）

マウス ES 細胞の3次元培養による機能的下垂体形成

須賀 英隆（理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター

幹細胞研究支援・開発室 立体組織形成・解析ユニット）

共催：日本イーライリリー(株)

シンポジウム4 ● 機能性下垂体腺腫の薬物療法

09:00~10:30

座長：千原 和夫（兵庫県立加古川医療センター）

齋藤 洋一（大阪大学産学連携本部 脳神経制御外科学）

- S4-1 カベルゴリン時代のプロラクチノーマの治療
高野 晋吾（筑波大学臨床医学系 脳神経外科）
- S4-2 PRL 産生 macroadenoma に対するカベルゴリン治療
—その治療効果と3TMRI 画像所見について—
黒崎 雅道（鳥取大学医学部 脳神経外科）
- S4-3 Large invasive male prolactinoma に対するドパミン受容体作動薬治療
—治療効果と外科治療を要した合併症例の検討—
立花 修（金沢医科大学 脳神経外科）
- S4-4 巨大な Prolactin 産生下垂体腺腫に対する治療戦略における dopamine agonist の有効性と問題点
辛 正廣（東京大学医学部附属病院 脳神経外科）
- S4-5 術後活動性先端巨大症に対する長期 Cabergoline 治療の有効性
小野 昌美（東京女子医科大学 第二内科）
- S4-6 オクトレオチド LAR 治療が先端巨大症患者の QOL・臨床症状に与える影響についての検討
大月 道夫（関西間脳下垂体疾患研究会）

一般演題14 ● 下垂体炎

10:30~11:15

座長：岩崎 泰正（高知大学保健管理センター）

- O14-1 当科で経験した下垂体炎14例のMRI所見と臨床的特徴
村岡 東子（東京女子医科大学 第二内科）

- O14-2 中枢性尿崩症で発症し重症 GH 分泌不全を合併したリンパ球性漏斗下垂体後葉炎の 2 例
佐久間 一基 (千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学)
- O14-3 妊娠後期に急速な視力・視野障害を来したリンパ球性下垂体炎の一例
山門 佑有 (東京女子医科大学 第二内科)
- O14-4 下垂体腺腫を合併した IgG4 関連下垂体炎の検討
田原 重志 (日本医科大学 脳神経外科)
- O14-5 頭蓋咽頭腫やラトケ嚢胞に対する IgG4 免疫組織学的発現頻度の検討
木島 千尋 (北里大学 脳神経外科)

特別講演 2

11:20~12:10

座長：肥塚 直美 (東京女子医科大学 第二内科)

Recent Progress in Cushing's Disease

Beverly MK Biller (Professor of Medicine at Harvard Medical School and a faculty member of the Neuroendocrine Unit at The Massachusetts General Hospital, Boston, Massachusetts)

ランチョンセミナー3

12:20~13:10

座長：横谷 進 (国立成育医療研究センター 生体防御系内科部)

Pituitary Incidentaloma: Clinical Practice Guidelines

Kalmon D. Post (Chairman Emeritus Leonard I. Malis, M.D./ Corinne and Joseph Graber Professor, Department of Neurosurgery Professor, Department of Medicine, Mount Sinai School of Medicine, U.S.A.)

共催：日本ケミカルリサーチ(株)

佐野壽昭先生を偲ぶ：過去そして未来へ

13:20~13:50

座長：大磯 ユタカ (名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学)

山田 正三 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 内分泌センター 間脳下垂体外科)

教育講演 2

13:50~14:20

座長：佐伯 直勝 (千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学)

内視鏡下経鼻的頭蓋底手術のための外科解剖

一ツ松 勤 (新古賀病院 脳卒中脳神経センター 脳神経外科)

シンポジウム5 ● 術後の内分泌管理とホルモン補充療法の実際**14:25~15:25**

座長：高野 幸路（東京大学医学部 腎臓・内分泌内科）
立花 修（金沢医科大学 脳脊髄神経治療学）

- S5-1 内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術の周術期内分泌管理の実際
田原 重志（日本医科大学 脳神経外科）
- S5-2 副腎機能低下症の管理とホルモン補充療法の実際
沖 隆（浜松医科大学 第二内科）
- S5-3 軽度飲水制限を基本とした経鼻的経蝶形骨洞手術における術後水納管理の試み
永谷 哲也（名古屋大学大学院 脳神経外科）
- S5-4 成人 GH 分泌不全症における NAFLD/NASH 発症を防止するための GH 補充療法
高橋 裕（神戸大学大学院医学研究科 糖尿病内分泌内科学）

シンポジウム6 ● クッシング病の診断と治療 update**15:25~16:55**

座長：平田 結喜緒（東京医科歯科大学 分子内分泌内科学）
池田 秀敏（総合南東北病院 下垂体疾患研究所）

- S6-1 クッシング病と異所性 ACTH 産生症候群との鑑別診断：big ACTH と proγMSH に対する超高感度・高感度測定法の開発と臨床応用
片上 秀喜（帝京大学ちば総合医療センター 内科・臨床研究部）
- S6-2 Cushing 病の診断・治療成績 Update～MET-PET fusion 3T-MRI を用いた症例の解析～
池田 秀敏（総合南東北病院下垂体疾患研究所）
- S6-3 クッシング病診断における静脈血サンプリング～診断基準における位置づけからの検討
有田 英之（大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科）
- S6-4 Cushing 病と診断された ACTH 産生性下垂体腺腫 164 症例の電顕所見
井下 尚子（虎の門病院 病理部）
- S6-5 Cushing 病に対する治療戦略 - 根治を目指した手術の工夫と集学的治療 -
福島 崇夫（日本大学医学部脳神経外科学系神経外科学分野）
- S6-6 クッシング病の診断と治療及び長期予後判定 update
西澤 茂（産業医科大学医学部 脳神経外科）

2月25日(土) 第2会場

シンポジウム7 ● 小児間脳下垂体腫瘍に対する治療の現状と問題点

09:00~10:30

座長：横谷 進（国立成育医療研究センター 生体防御系内科部）
佐々木 富男（九州大学大学院医学研究院 脳神経外科）

- S7-1 頭蓋咽頭腫小児例に対する経蝶形骨洞手術後の水・電解質管理
伊藤 純子（虎の門病院 小児科）
- S7-2 小児頭蓋咽頭腫に対する治療と長期予後からみた検討
酒井 圭一（国立病院機構信州上田医療センター 脳神経外科）
- S7-3 放射線治療が頭蓋内胚腫患者の高次脳機能に与える影響
神宮 伸哉（新潟大学脳研究所 脳神経外科学分野）
- S7-4 小児視床 - 松果体部腫瘍に対する外科的治療戦略 — 認知機能温存の見地から —
藍原 康雄（東京女子医科大学 脳神経外科）
- S7-5 小児間脳下垂体腫瘍に対する治療の現状と問題点—長期フォローアップ例から分かること—
高橋 麻由（産業医科大学医学部 脳神経外科）
- S7-6 日本小児内分泌学会「小児がん経験者（CCS）のための医師向けフォローアップガイド」の公表
安達 昌功（神奈川県立こども医療センター）

一般演題15 ● 手術手技2（下垂体腺腫）

10:30~11:15

座長：田中 雄一郎（聖マリアンナ医科大学 脳神経外科）

- O15-1 非機能性下垂体腺腫における術前後 IGF-1 値の経時的変化
—内視鏡単独手術と顕微鏡手術の比較—
白川 学（兵庫医科大学 脳神経外科）
- O15-2 非機能性下垂体腺腫に対する内視鏡的拡大経蝶形骨洞手術の適応について
秀 拓一郎（熊本大学医学部 脳神経外科）
- O15-3 非機能性下垂体腺腫再発症例の傾向と治療戦略
五百蔵 義彦（京都大学医学部附属病院 脳神経外科）
- O15-4 巨大下垂体腺腫に対する脳室内軟性鏡併用 dual endoscope 法について
上羽 哲也（福岡大学医学部 脳神経外科）
- O15-5 巨大下垂体腺腫に対する経蝶形骨洞手術：内視鏡手術導入以降の変遷
南田 善弘（砂川市立病院 脳神経外科）

一般演題 16 ● 頭蓋咽頭腫

11:20~12:00

座長：大畑 建治（大阪市立大学医学部 脳神経外科）

- O16-1 Bifrontal basal interhemispheric approach による頭蓋咽頭腫の摘出術
岸田 悠吾（福島県立医科大学医学部 脳神経外科）
- O16-2 再発頭蓋咽頭腫に対する頭蓋底アプローチの治療成績
國廣 誉世（大阪市立大学医学部 医学研究科 脳神経外科）
- O16-3 高齢者第3脳室内嚢胞性頭蓋咽頭腫に対する神経内視鏡手術
佐藤 公俊（北里大学医学部 脳神経外科）
- O16-4 第3脳室内頭蓋咽頭腫に対する手術+ガンマナイフ治療の成績
寺田 愛子（大阪市立総合医療センター 脳神経外科）

ランチョンセミナー4

12:20~13:10

座長：有田 和徳（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学）

経蝶形骨洞手術における髄液漏の修復・予防

天野 耕作（東京女子医科大学 脳神経外科）

共催：(株)メディカルユーアンドエイ

一般演題 17 ● TSH、ゴナドトロピン産生腫瘍

13:20~14:05

座長：矢野 茂敏（熊本大学大学院医学薬学研究部 脳神経外科）

- O17-1 当院における TSH 産生下垂体腺腫の診断背景とその検討
福永 貴典（大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学）
- O17-2 TSH 産生下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術
竹内 和人（名古屋大学医学部 脳神経外科）
- O17-3 当院における TSH 産生下垂腺腫 11 症例の臨床的検討
吉田 昌子（東京女子医科大学 第二内科）
- O17-4 TSH 産生下垂体腺腫術後の甲状腺ホルモン動態
福原 紀章（虎の門病院 間脳下垂体外科）
- O17-5 ゴナドトロピン産生下垂体腺腫の一例
関山 ちひろ（東京女子医科大学 第二内科）

一般演題 18 ● 先端巨大症 治療

14:05~15:00

座長：栗栖 薫（広島大学医学部 脳神経外科）

- O18-1 GH 産生下垂体腺腫における片側経鼻的内視鏡手術 一周術期呼吸管理を中心に—
木島 裕介（千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科学）
- O18-2 当科における成長ホルモン産生下垂体腺腫に対する内視鏡下経蝶形骨洞手術方法
荻原 雅和（山梨大学医学部 脳神経外科）
- O18-3 GHoma における海綿静脈洞側腫瘍摘出の必要性
柿澤 幸成（信州大学医学部 脳神経外科）
- O18-4 GH 産生下垂体腺腫に対する複合的治療の検討
松角 宏一郎（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 脳神経外科）
- O18-5 当科にてオクトレオチド LAR のみで内科的治療を継続中の先端巨大症 3 症例の治療成績に
ついての報告
工藤 正孝（東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科）
- O18-6 GH 産生下垂体腫瘍における Pit-1 及び SSTR サブタイプの発現解析と OCT の臨床的反応性
永野 秀和（千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学）

シンポジウム 8 ● 異型性下垂体腺腫・下垂体癌の治療 —現状と展望—

15:25~16:55

座長：松野 彰（帝京大学ちば総合医療センター 脳神経外科）

中里 洋一（群馬大学大学院医学系研究科 病態病理学分野）

- S8-1 異型性下垂体腺腫の臨床像と術後残存腺腫再増大の予測因子としての Ki-67 expression の意義
松山 純子（藤田保健衛生大学 脳神経外科）
- S8-2 プロラクチン産生下垂体癌の一例
望月 悠一（東京女子医科大学 脳神経外科）
- S8-3 Atypical adenoma によるクッシング病に対する集学的治療経過
臼井 健（国立病院機構京都医療センター臨床研究センター）
- S8-4 当施設における下垂体癌の治療経験
石井 雄道（日本医科大学 脳神経外科）
- S8-5 日本間脳下垂体腫瘍学会全国調査における下垂体癌・異型性下垂体腺腫の病理学的解析
廣畑 倫生（東京大学医学部 脳神経外科）

2月25日(土) 第3会場

一般演題 19 ● 先端巨大症 症例

10:30~11:15

座長：小野 昌美 (東京女子医科大学 第二内科)

- O19-1 リンパ球性下垂体炎を伴った成長ホルモン産生腺腫の1例
立澤 和典 (京都府立医科大学医学部 脳神経外科)
- O19-2 GH 高値を契機に診断・治療された小児 GH 産生下垂体腫瘍の1例
佐藤 俊輔 (財団法人脳神経疾患研究所 総合南東北病院)
- O19-3 乳汁分泌を主訴に発症した GH 産生下垂体腺腫の男性症例
北田 友紀 (財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 脳神経外科)
- O19-4 下垂体卒中により急速な GH 低下を認めた先端巨大症の1例
三好 智子 (岡山大学病院 内分泌センター/腎臓・糖尿病・内分泌内科)
- O19-5 手術前日に IGF-I が基準範囲に入っていた先端巨大症の1例
須崎 法幸 (独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 脳神経外科)

一般演題 20 ● 合併症など

11:15~12:00

座長：田村 哲郎 (新潟県立中央病院 脳神経外科)

- O20-1 海綿静脈洞浸潤を伴わない下垂体腺腫における動眼神経単独麻痺の発症機序
小林 浩之 (北海道大学大学院 医学研究科 神経外科)
- O20-2 経蝶形骨洞手術 (TSS) 後に予期しないくも膜下出血をきたした3例の経験
山内 貴寛 (福井大学医学部 脳脊髄神経外科)
- O20-3 経蝶形骨洞手術後、遅発性に重篤な肺炎球菌髄膜炎を併発した3症例
小林 伸行 (虎の門病院 間脳下垂体外科)
- O20-4 間脳部腫瘍に対する放射線療法後に脳血管障害を合併した3例
北林 朋宏 (金沢大学 脳神経外科)
- O20-5 鞍結節部髄膜腫 (TSM) の低分割定位放射線治療 (h-FSRT) 例の評価
宮崎 紳一郎 (福島孝徳記念病院 脳神経外科)

一般演題 21 ● 下垂体腺腫

13:20~14:25

座長：片上 秀喜 (帝京大学ちば総合医療センター 内科・臨床研究部)

- O21-1 非機能性下垂体腺腫の組織型と MRI 所見
西岡 宏 (虎の門病院 間脳下垂体外科)

- O21-2 妊娠中に頭痛、動眼神経麻痺にて発症した非機能性下垂体腺腫の一例
中久木 卓也 (国立病院機構京都医療センター 脳神経外科)
- O21-3 異所性下垂体腺腫の3例
喜多 大輔 (金沢大学 脳神経外科)
- O21-4 多発嚢胞性病変を呈した巨大下垂体腺腫の一例
長倉 正宗 (刈谷豊田総合病院 脳神経外科)
- O21-5 “Fertile eunuch”型 (LH 単独欠損) 低ゴナドトロピン性性腺機能低下症を呈した巨大下垂体腺腫の1例
竹田 愛 (金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学)
- O21-6 下垂体腺腫と鞍結節部髄膜腫の合併例に対し拡大経蝶形骨洞手術を行った一例
坂田 清彦 (久留米大学医学部 脳神経外科)
- O21-7 下垂体腺腫と髄膜腫を近接して併発した1例
田村 貴光 (福島県立医科大学医学部 脳神経外科)

一般演題 22 ● 小児

14:25~15:30

座長：岡 秀宏 (北里大学医学部 脳神経外科)

- O22-1 小児下垂体腫瘍性病変の診断における経蝶形骨洞手術の有用性と問題点
北条 雅人 (京都大学医学部 脳神経外科)
- O22-2 小児下垂体腺腫 39 例の検討
木下 康之 (広島大学 脳神経外科)
- O22-3 神経内視鏡手術導入後の小児間脳下垂体腫瘍の現状
岡 秀宏 (北里大学医学部 脳神経外科)
- O22-4 小児間脳近傍腫瘍に対する神経内視鏡的アプローチの有用性
黒住 和彦 (岡山大学大学院 脳神経外科)
- O22-5 Growing teratoma 症候群を呈した2例におけるの内視鏡手術の意義について
村井 尚之 (千葉大学医学研究院 脳神経外科)
- O22-6 小児間脳下垂体腫瘍術後の水・電解質管理
山本 晶子 (国立成育医療研究センター 内分泌代謝科)
- O22-7 術前・術後および化学療法中に電解質管理に非常に難渋した脳腫瘍の一例
水野 裕介 (国立成育医療研究センター 内分泌代謝科)